

立会受付等のオンライン化

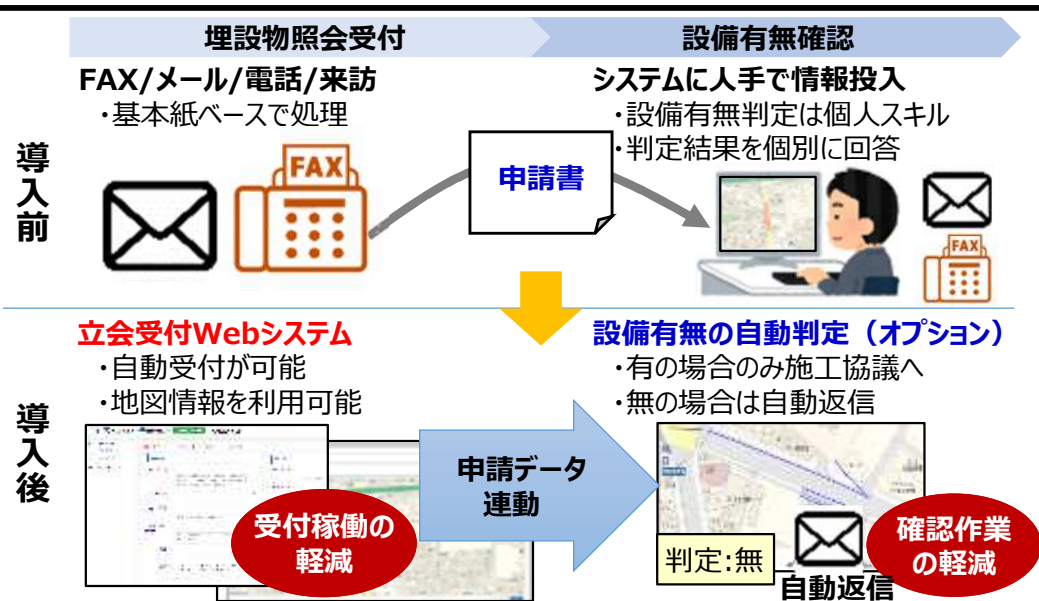
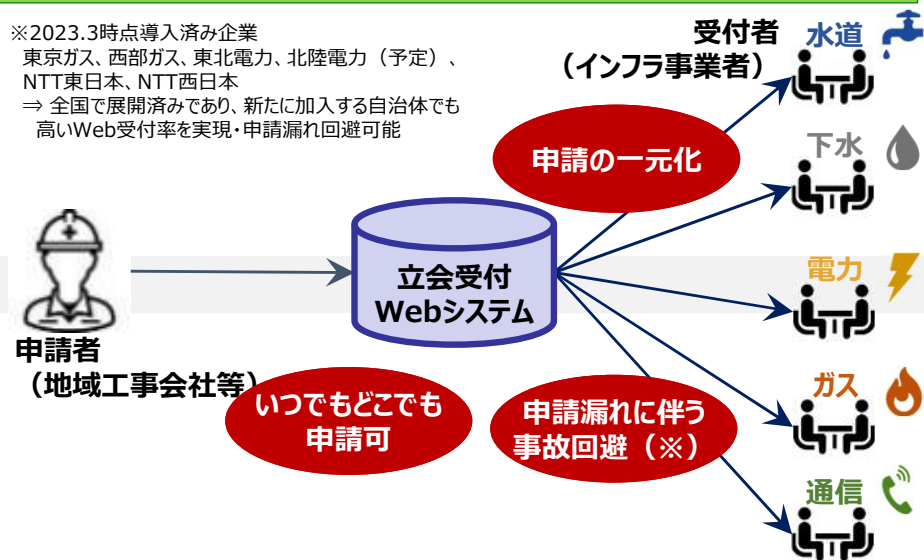
☑インフラの維持管理・修繕等に係る官民連携事業の導入検討
 □官民連携グリーンチャレンジモデル

①提案によって解決する自治体の課題のイメージ

- 背景** 道路掘削工事を行う際、地域工事会社等は、埋設物を保有しているインフラ事業者（自治体上下水等）に対し、個別に電話・FAXもしくは窓口に出向いての工事申請、埋設物有無の確認を行っており、インフラ事業者は埋設物の調査を行い、埋設物がある場合には現地での立会を実施している。
- 課題** 各インフラ事業者や自治体ごとに個別申請が必要となり、時間と手間がかかる。
 申請漏れによる事故発生リスクがある。
- 解決策** 立会受付Webシステムにより申請受付を一元的にWeb受付し、地域工事会社等から複数のインフラ事業者への申請をワンストップで実現する。

②提案の概要

※2023.3時点導入済み企業
 東京ガス、西部ガス、東北電力、北陸電力（予定）、
 NTT東日本、NTT西日本
 ⇒ 全国で展開済みであり、新たに加入する自治体でも
 高いWeb受付率を実現・申請漏れ回避可能



③スキーム（技術）の導入により得られる効果

- ・地域住民の効果（地域工事会社含む）：
 無届工事による事故に伴う断水など回避、地域工事会社の申請一元化や窓口訪問回避
- ・自治体：申請窓口閉鎖・非接触化、稼働削減

その他

・Smart Infraプラットフォーム 立会受付Webシステム
<https://www.nttinf.co.jp/service/smartinfrastructure/tachiai-web/>

会社名：東日本電信電話（株） ネットワーク事業推進本部 エンジニアリング部 基盤設備部門
 会社名：西日本電信電話（株） ネットワークデザイン部 コーディネイト部門 アクセス担当
 会社名：NTTインフラネット（株） Smart Infra推進部 SIビジネス部門

担当者：NTTインフラネット（株） 高見
 連絡先（電話番号）：03-5809-1831 メールアドレス：yuu.takami.um@nttinf.co.jp